



## 令和5年9月 市議会定例会

# 市民生活の「安心・安全」確保に 向けた一般会計補正予算を可決

平塚市議会は、令和5年8月25日から9月20日まで、27日間の会期で9月定例会を開催しました。今定例会では、市長提出議案として、条例の一部改正や令和5年度補正予算、人事案件など24案件が提出され、このうち令和4年度決算の認定などに関する4案件を除く20案件を原案どおり可決、同意しました。

※議案と審議の結果は8面に掲載しています。



「晩秋の富士」

(撮影日 令和5年10月16日)

今定例会では、市民生活の「安心・安全」を確保し、利便性を向上するために道路や公共施設の維持補修費や、学校通学路や保育所などの安全対策費、消防車両の購入費などが計上されたほか、当初予算で措置できなかった経費や不足が見込まれる経費など9億788万9千円の一般会計補正予算が提案されました。

主なものとして、保育所などにおける記録用カメラの導入及び導入支援の経費として2330万7千円が計上されたほか、放課後児童クラブのICT化及び送迎用バス安全装置の導入に係る支援経費として179万2千円、飼料の輸入価格高騰の影響を受ける畜産農家を支援するため、飼料価格高騰緊急支援補助金3027万9千円などの費用が計上されました。常任委員会の質疑では、スマート農業の法人に対する助成の考えや農業者の担い手育成が問われたほか、波力発電の

### 一般会計補正予算の一部を紹介

- 担い手総合対策事業  
生産性の向上を図ることを目的に、認定農業者等の担い手に対して先進技術の導入等の支援を拡充するための経費……………1010万円
- 波力発電関連分野での新産業創出促進事業  
脱炭素事業のための指定寄附金（企業版ふるさと納税）を活用して波力発電を広く周知するための経費……………100万円
- 総合公園管理運営事業  
平塚競技場の観客席トイレを修繕するための経費……………1億4253万円
- 消防車両整備事業  
消防及び救急活動の維持強化に資する各種車両を更新するための経費……………1億914万円

関連分野に関して、今回寄付を受けた企業の詳細や今後について質疑がありました。また、小中学校において倒木の危険性のある樹木の伐採・剪定に係る経緯や対象となる樹木の本数、今後の点検方法なども問われました。

このほか、左記で紹介する経費などが計上され、採決の結果、全員異議なく可決しました。

◆平塚市特定教育保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準等を定める条例の一部を改正  
就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部改正に伴い、規定を整備する条例の一部を改正する条例が提案されました。常任委員会では、今回条例改正に至った経緯や目的、効果について質疑がありました。採決の結果、全員異議なく可決しました。

◆平塚市一般職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正  
新型コロナウイルス感染症に係る感染症接触手当の特例を廃止する条例が提案されました。常任委員会では、手当の対象となつている部署や対象人数と件数などについての質疑がありました。採決の結果、全員異議なく可決しました。

◆人事案件に同意  
任期満了を迎える公平委員会委員及び固定資産評価審査委員会委員の選任に関する議案が提出され、全員異議なく同意しました。

◆決算特別委員会を設置  
令和4年度一般会計・特別会計決算及び公営企業決算の認定に関する議案が提出されました。病院事業では、感染症に対応しつつ、救急対応を含めた通常診療の継続に努め、最新型の高度医療機器などの導入・更新を行い、地域医療の充実を図りました。医療収支はマイナスとなったものの、病院事業全体では3年連続黒字決算となりました。

◆平塚市特定教育保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準等を定める条例の一部を改正  
就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部改正に伴い、規定を整備する条例の一部を改正する条例が提案されました。常任委員会では、今回条例改正に至った経緯や目的、効果について質疑がありました。採決の結果、全員異議なく可決しました。

◆平塚市特定教育保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準等を定める条例の一部を改正  
就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部改正に伴い、規定を整備する条例の一部を改正する条例が提案されました。常任委員会では、今回条例改正に至った経緯や目的、効果について質疑がありました。採決の結果、全員異議なく可決しました。

主な内容	
総括質問	2～7面
清風クラブ	2・3
諸伏清児 佐藤貴子 須藤量久 黒部栄三	
湘南フォーラム	4
久保田聡 府川正明 山原栄一	
しらさぎ・無所属クラブ	5
江口友子 端 文昭 元島 新	
公明ひらつか	6
秋澤雅久 上野仁志 五十嵐豊	
日本共産党平塚市議会議員団	7
松本敏子	
無所属	7
佐藤由美子	
常任委員会の審査概要	3・7面
審議の結果	8面

# 総括質問

本市議会では議案への質疑と、市政などを問う一般質問を合わせて行い、それを「総括質問」として行います。今定例会では、15人の議員が総括質問を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介します。  
★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

## 清風クラブ



市長に問う

諸伏 清児 議員

### サッカー専用スタジアムについて

**問** これまで総合公園内での新スタジアム建設は、市民の理解を得ることが難しくとされてきた。総合公園内において、現状の都市公園法でサッカー専用スタジアムを建設することは、建ぺい率に問題があり、難しいと考えてよいか伺う。

**市長** 本市が湘南ベルマーレに対して支援を行ってきたことは、地方の同規模の都市も同様だと思う。日本にはJリーグのスタジアム基準があり、それを地方都市とチームがどのように解決するかが問題の本質と考える。

**問** 現在のレモンガスタジアム平塚の設備の老朽化や屋根の問題、スタジアムの入場者数など、湘南ベルマーレが抱える課題については本市とも共有できていると思う。その上で、レモンガスタジアム平塚の改修については、先方から出た発言であるため、そのように受け止めている。

**市長** 本市が湘南ベルマーレに対して支援を行ってきたことは、地方の同規模の都市も同様だと思う。日本にはJリーグのスタジアム基準があり、それを地方都市とチームがどのように解決するかが問題の本質と考える。

**企画政策部長** 都市公園法では、都市公園に建築できる特例施設である野球場や競技場、体育館などの建築面積は、公園面積の10%以下とされているため、現状では新しいスタジアムを建築することはできない。

**問** 湘南ベルマーレから市に対して建設費の半分にあたる約70億円を負担するよう求められていることについて、巨額の費用負担だと感じているが、本市にとってどれだけ大きな額なのか見解を伺う。

**企画政策部長** 事前相談という言葉は、話を聞いた際に、先方から出た発言であるため、そのように受け止めている。

**副市長** 怪我など目に見える一次被害に加え、最近ではその後に発生する精神的ショックや経済的負担、周囲からの心無い言動などの二次被害に苦しめられることが問題とされていることから、きめ細やかな支援が必要と考えている。本市としては、法の趣旨を踏まえ、被害者やその家族に寄り添った条例の制定を目指していく。

### 働き方改革

**副院長兼事務局長** 令和4年度実績で、時間外勤務が年間960時間を超える医師は14人であった。

**問** 医師の負担軽減を進めるためのタスクシフトや、タスクシェアの進捗状況を伺う。

**副院長兼事務局長** 現在、医師の事務作業を代行する医師事務補助者を継続的に募集し、必要人数の確保に努めている。また、医

**副院長兼事務局長** 特定行為看護師養成については院内での研修制度を整備している。研修には医師など医療職の協力が必要になる。目標については状況を見ながら定めていきたいと考えている。

**副院長兼事務局長** 特定行為看護師養成については院内での研修制度を整備している。研修には医師など医療職の協力が必要になる。目標については状況を見ながら定めていきたいと考えている。

**副院長兼事務局長** 特定行為看護師養成については院内での研修制度を整備している。研修には医師など医療職の協力が必要になる。目標については状況を見ながら定めていきたいと考えている。

**副院長兼事務局長** 特定行為看護師養成については院内での研修制度を整備している。研修には医師など医療職の協力が必要になる。目標については状況を見ながら定めていきたいと考えている。

### 病院経営

**問** 団塊の世代が75歳に達する2025年を前に、総合診療科の増強が必要と考えるが見解を伺う。

**副院長兼事務局長** さまざまな健康問題を抱える患者に対して、総合的な医療を提供する総合診療科の医師は、救急搬送患者が多い当院には必要な存在である。一方、総合診療科を志す医師が全国的に少なく、募集はしているが専従医師の配置はできていない。今後進展する高齢社会においては、総合的な医療を必要とする患者の増加が見込まれるため、総合診療科の医師の配置に向けて、引き続き努力していく。

**副院長兼事務局長** 特定行為看護師養成については院内での研修制度を整備している。研修には医師など医療職の協力が必要になる。目標については状況を見ながら定めていきたいと考えている。

**副院長兼事務局長** 特定行為看護師養成については院内での研修制度を整備している。研修には医師など医療職の協力が必要になる。目標については状況を見ながら定めていきたいと考えている。

**副院長兼事務局長** 特定行為看護師養成については院内での研修制度を整備している。研修には医師など医療職の協力が必要になる。目標については状況を見ながら定めていきたいと考えている。

**副院長兼事務局長** 特定行為看護師養成については院内での研修制度を整備している。研修には医師など医療職の協力が必要になる。目標については状況を見ながら定めていきたいと考えている。

**副院長兼事務局長** 特定行為看護師養成については院内での研修制度を整備している。研修には医師など医療職の協力が必要になる。目標については状況を見ながら定めていきたいと考えている。

**副院長兼事務局長** 特定行為看護師養成については院内での研修制度を整備している。研修には医師など医療職の協力が必要になる。目標については状況を見ながら定めていきたいと考えている。

**副院長兼事務局長** 特定行為看護師養成については院内での研修制度を整備している。研修には医師など医療職の協力が必要になる。目標については状況を見ながら定めていきたいと考えている。

**副院長兼事務局長** 特定行為看護師養成については院内での研修制度を整備している。研修には医師など医療職の協力が必要になる。目標については状況を見ながら定めていきたいと考えている。

## 委員会の活動 ● 行政視察の報告

議会では他自治体の先進事例を研究するため、行政視察を実施しています。6月定例会で承認を得た次の委員会が、閉会中に行政視察を行いました。

- 総務経済常任委員会 (8月3日～8月4日)**
  - 富山県富山市…スマートシティ推進事業について
  - 群馬県高崎市…高崎ブランド・シティプロモーション事業(絶メシリストなど)について
- 都市建設常任委員会 (8月8日～8月9日)**
  - 富山県高岡市…高岡市中心市街地活性化基本計画について
  - 石川県金沢市…公共交通(金沢ふらっとバス)について
- 環境厚生常任委員会 (7月27日～7月28日)**
  - 京都府京都市…動物愛護の取組について
  - 三重県伊賀市…重層的支援体制整備事業について

※詳しい視察内容を記載した報告書は、市庁舎8階の議会図書室や5階の市政情報コーナーでご覧いただけます。

### 持続可能な地域医療提供体制



佐藤 貴子 議員

**問** 医師の時間外労働の現状を伺う。

**副院長兼事務局長** 令和4年度実績で、時間外勤務が年間960時間を超える医師は14人であった。

**問** 医師の負担軽減を進めるためのタスクシフトや、タスクシェアの進捗状況を伺う。

**副院長兼事務局長** 現在、医師の事務作業を代行する医師事務補助者を継続的に募集し、必要人数の確保に努めている。また、医

**副院長兼事務局長** 特定行為看護師養成については院内での研修制度を整備している。研修には医師など医療職の協力が必要になる。目標については状況を見ながら定めていきたいと考えている。

**副院長兼事務局長** 特定行為看護師養成については院内での研修制度を整備している。研修には医師など医療職の協力が必要になる。目標については状況を見ながら定めていきたいと考えている。

**副院長兼事務局長** 特定行為看護師養成については院内での研修制度を整備している。研修には医師など医療職の協力が必要になる。目標については状況を見ながら定めていきたいと考えている。

**副院長兼事務局長** 特定行為看護師養成については院内での研修制度を整備している。研修には医師など医療職の協力が必要になる。目標については状況を見ながら定めていきたいと考えている。

### 犯罪被害者等支援

**問** 令和4年度犯罪被害者白書では、本年4月、犯罪被害者等支援条例を定めている自治体は約35%にとど

**副市長** 怪我など目に見える一次被害に加え、最近ではその後に発生する精神的ショックや経済的負担、周囲からの心無い言動などの二次被害に苦しめられることが問題とされていることから、きめ細やかな支援が必要と考えている。本市としては、法の趣旨を踏まえ、被害者やその家族に寄り添った条例の制定を目指していく。

**副市長** 怪我など目に見える一次被害に加え、最近ではその後に発生する精神的ショックや経済的負担、周囲からの心無い言動などの二次被害に苦しめられることが問題とされていることから、きめ細やかな支援が必要と考えている。本市としては、法の趣旨を踏まえ、被害者やその家族に寄り添った条例の制定を目指していく。

**副市長** 怪我など目に見える一次被害に加え、最近ではその後に発生する精神的ショックや経済的負担、周囲からの心無い言動などの二次被害に苦しめられることが問題とされていることから、きめ細やかな支援が必要と考えている。本市としては、法の趣旨を踏まえ、被害者やその家族に寄り添った条例の制定を目指していく。

**副市長** 怪我など目に見える一次被害に加え、最近ではその後に発生する精神的ショックや経済的負担、周囲からの心無い言動などの二次被害に苦しめられることが問題とされていることから、きめ細やかな支援が必要と考えている。本市としては、法の趣旨を踏まえ、被害者やその家族に寄り添った条例の制定を目指していく。

**副市長** 怪我など目に見える一次被害に加え、最近ではその後に発生する精神的ショックや経済的負担、周囲からの心無い言動などの二次被害に苦しめられることが問題とされていることから、きめ細やかな支援が必要と考えている。本市としては、法の趣旨を踏まえ、被害者やその家族に寄り添った条例の制定を目指していく。

**副市長** 怪我など目に見える一次被害に加え、最近ではその後に発生する精神的ショックや経済的負担、周囲からの心無い言動などの二次被害に苦しめられることが問題とされていることから、きめ細やかな支援が必要と考えている。本市としては、法の趣旨を踏まえ、被害者やその家族に寄り添った条例の制定を目指していく。

**副市長** 怪我など目に見える一次被害に加え、最近ではその後に発生する精神的ショックや経済的負担、周囲からの心無い言動などの二次被害に苦しめられることが問題とされていることから、きめ細やかな支援が必要と考えている。本市としては、法の趣旨を踏まえ、被害者やその家族に寄り添った条例の制定を目指していく。

**副市長** 怪我など目に見える一次被害に加え、最近ではその後に発生する精神的ショックや経済的負担、周囲からの心無い言動などの二次被害に苦しめられることが問題とされていることから、きめ細やかな支援が必要と考えている。本市としては、法の趣旨を踏まえ、被害者やその家族に寄り添った条例の制定を目指していく。

**副市長** 怪我など目に見える一次被害に加え、最近ではその後に発生する精神的ショックや経済的負担、周囲からの心無い言動などの二次被害に苦しめられることが問題とされていることから、きめ細やかな支援が必要と考えている。本市としては、法の趣旨を踏まえ、被害者やその家族に寄り添った条例の制定を目指していく。



「子育て世代」から  
選ばれるまち

須藤 量久 議員

### ■中学校完全給食へ

**問** 新学校給食センター及び中学校の給食受入施設の整備状況と今後の予定、昼食時間について伺う。

**教育長** 現在新たな学校給食センターは躯体工事と設備工事に着手している。令和6年6月に完成し、同年9月から供用開始の予定である。中学校の給食受入施設も工事を進めており、計画どおり全校が整備完了の予定である。給食開始の際は、配膳などを含め30分程度の昼食時間が必要となり、現在、学校給食運営委員会では昼食時間の確保と日課の調整を行っている。

**問** 出来立てに近く、おいしい給食の提供が望まれるが、効率的な配送計画に向けた取り組みを伺う。

**教育長** 調理後2時間以内の喫食を遵守し、配膳に要する時間を勘案し、食器と

給食を別々に配送する2段階配送を予定している。今後、中学校の日課の調整結果に合わせ、配送計画を決定していく。

**問** 確かな衛生管理の下で安心・安全な給食を提供する運営システムの構築を望む。衛生管理の構築に向けた取り組みについて伺う。

**教育長** 安全確保の管理手法であるHACCP実施のための計画を事業者が作成し、市が確認をする。稼働後は、重層的な監視体制の下で高度な衛生管理を維持していく。

**問** アレルギー対応について伺う。

**教育長** 現在小学校給食で運用している平塚市学校給食における食物アレルギー対応マニュアルを改定し、小中学校共通した運用とする。

**問** 米飯給食や地産地消の充実と食育・食農育の推進について伺う。

**教育長** 新学校給食センターでは、炊飯設備を導入し、米飯給食の回数を週4回程度に増やす。平塚産の「はるみ」を可能な限り使用出来るよう、納入元と協議を進め、地場産食材についても、積極的に取り入れていく。食育・食農育の推

進だが、地域産業従事者と連携、推進していく。

**問** 新学校給食センターでの災害時の対応を伺う。

**教育長** 災害発生時に電気やガスが使用不可能の場合でも、プロパンガスを使用する移動式回転釜により、近隣住民への炊き出しを行うことが可能である。人的

支援や備蓄品提供など事業者からの提案を含め、先進事例を参考に災害発生時に協力する事項の調整を行い、供用開始までに災害協定の締結をする予定である。

**このほかの質問** 確かな学力の育成 平塚市総合浸水対策基本計画

ロケーションとしても、潜在能力を秘めた公園であるが、現状のトイレではリピーターは望めない。小学生や高齢者も利用するため、トイレだけでも早期に改修すべきと考えるが市長の見解を伺う。

**市長** 湘南平は本市の大きな魅力の一つである。トイレの影響で、湘南平のイメージが下がることについては、早急に対処しなければならぬ。湘南平としては再整備計画も含め、より魅力化することを検討している。改修は、トイレを含め、検討していきたい。

**このほかの質問** がん撲滅 生成AIの活用 投票率向上 バス路線見直し

**問** 湘南平は総合公園に次ぐ来場者数である。工夫次第では総合公園以上の来場者が見込まれる。シティブ

**問** 湘南平はこれまで樹木を伐採して眺望の確保やベンチを設置して居心地のよい空間づくり、鍵かけモニタメントの「ainowa」を設置してきた。元年度には開園60周年記念イベントを行い、多くの来場者を集め、同年6月にはマ

## 1面掲載写真を募集しています

市内に在住又は在勤・在学の方を対象に、2月発行予定の議会だよりの1面に掲載する写真を募集しています。「冬」をテーマとした、平塚市の魅力を収めた写真をご応募ください。

詳しい応募方法などは、市議会ホームページをご覧ください。議会局までお問い合わせください。

(議会局 ☎21-8791)

### 湘南平トイレの早期改修を

黒部 栄三 議員

**問** 総合公園のトイレは令和元年度に改修が終わり、特に来園する親子連れに好評である。本市の観光資源である湘南平のトイレの現状と課題について伺う。

**都市整備部長** 湘南平にはレストハウスに屋内トイレが1か所、頂上エリアと大駐車場にそれぞれ屋外トイレが1か所、子供の森に仮設トイレが1か所設置されている。レストハウス内のトイレは、今年度に和式から洋式へ変更し、快適性が向上したと考えている。屋外トイレはいずれも設置後30年以上が経過し、老朽化しており、利用者の利便性や快適性向上のため改修の検討が必要と考えている。

**問** 湘南平はこれまで樹木を伐採して眺望の確保やベンチを設置して居心地のよい空間づくり、鍵かけモニタメントの「ainowa」を設置してきた。元年度には開園60周年記念イベントを行い、多くの来場者を集め、同年6月にはマ

### 清風クラブ 所属議員

坂間 正昭 議長

数田 俊樹 議員

野崎 審也 議員

片倉 章博 議員

## 常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

### 総務経済

議案6案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第71号 令和5年度平塚市一般会計補正予算

**問** 農業振興費の担い手総合対策事業について、中央ライスセンターは、令和6年3月までに受託面積に対する従業員の確保が適切にできる状況になっているのか伺う。

**答** 中央ライスセンターの受託面積だが、現在、大規模受託をしているのが湘南ライスセンターと片岡ライスセンターである。その間の金田地区に中央ライスセンターができるので、現在、JA湘南の受委託組織協議会と受託面積を調整している。その中で、6年度に

ついては、金田地区で約16ヘクタールを目標としている。従業員が増える段階に対して、将来的には、できれば50ヘクタールくらいを受け持つことを考えている。従業員の確保については、現在、地域の人や発起人にも声をかけて、従業員を集めていると聞いている。

**問** 波力発電について、これまで電池推進船やブルーカーボンなど、さまざまな成果があったと思うが、実用化や商品化、商業化できたものがあるのか。

**答** 波力発電の関連分野では、平塚新港をフィールドとして提供したもので、水中のカメラロボットや可搬型の双胴式無人艇が市内企業や東京大学、市外の企業で開発され、商品化されている。

### 都市建設

議案5案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第71号 令和5年度平塚市一般会計補正予算

**問** 道路維持費の道路施設維持管理事業について、市道全域800キロメートルを超える市道認定路線に対して撮影した舗装道路のAI解析を行うとのことだが、道路点検システムの内容と期待される効果を伺う。

**答** 公用車にスマートフォンを設置して動画を撮影しながら走行し、そのデータをAI解析することで路面の状態が分かるようになる。この調査によって市道全域800キロメートルの路面状況を把握することが可能となり、概ね2

週間程度で調査を行うことができ、時間短縮効果が大きく見込まれると考えている。

○議案第77号 令和5年度平塚市下水道事業会計補正予算

**問** 公共下水道ポンプ場耐震長寿命化対策事業の事業内容を伺う。

**答** 近年、全国各地で豪雨などによる水害が発生し、各地で処理場やポンプ場などの下水道施設も浸水により機能停止するなどといった被害を受けている。本市でも洪水などから施設を守り、安定したポンプ場の運用を図るために施設の耐水化、具体的にはポンプ場自体の浸水対策を行うため、今回馬入ポンプ場と徳延ポンプ場、東豊田工業団地ポンプ場の3か所のポンプ場の基本設計を行うものである。

# 湘南フォーラム

## 生活・暮らしの向上と、 更なるまちの前進に向けて

久保田 聡議員

### 市長に問う

**問** 令和4年度はポストコロナを見据えながら経済を回し、コロナ対策も万全に行いながらの市政運営や財政運営となり、より一層の工夫が必要となった1年であった。総体的な取り組みと、どのような歳入確保策に取り組んだのか伺う。

**市長** 国や県と密接に連携して情報収集をし、国県補助金などを活用したほか、債権徴収の推進や未利用地などの売却も進め、更なる確保策にも取り組んだ。歳出では、より一層の行財政改革に取り組み、ワイズスベンディングや全体最適の考え方を徹底し、真に必要な施策に財源を集中し、安定した持続可能な財政運営につなげられたと考えている。

**問** 6年度策定予定の駅周辺地区将来構想に向けた第一弾のアクションプランとして5年7月から平塚市敷地共同化推進事業支援制度が開始された。支援制度を実施し、最終的なまちの姿をどのようにイメージしているのか伺う。

**市長** 将来の駅周辺地区のイメージはこれからの駅周辺に求められる滞留や交流に資する機能などを配置する

から約3年が経過し、これまで各学校や教員の創意工夫により、個別最適化された学びや教育の実現に取り組んできた認識しているが、今後の更なる活用に対する見解を伺う。

**教育長** 更に主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげるため、国や県の情報を収集し、各学校における取り組みの好事例を発信するなど、タブレット端末の更なる活用を支援していく。また、授業以外の活用の一

つとして、市教育委員会では、いじめを含めたさまざまな悩みの早期発見・早期対応のため、児童生徒がタブレット端末から相談することができ「平塚市子ども相談フォーラム」を構築した。今後、各学校で児童生徒に説明後、順次運用を開始する。

**問** 多忙化する学校現場において、教員の働き方改革や業務負担軽減が必要と捉えている。働き方改革に向けた取り組みを伺う。



人にやさしい、生活環境を  
府川 正明議員

### 自治会の加入促進は

**問** この数年間の自治会加入率の推移と、県内での加入率は何番目か伺う。

**市民部長** 本市の加入率は平成30年度が72.4%、コロナ禍の令和3年度は70%、5年4月1日現在は66.8%となっており、各市の最新データでは県内19市中10番目となっている。

**問** 自治会は地域のコミュニケーションや災害時の助け合いなどを担ってきた。役員や担い手不足なども課題であるが、持続可能な自治会運営にしていけるための考えを伺う。

**市民部長** 社会状況が変化し従来どおりの事業を行うのが難しい中、若い世代や

活用を支援していく。また、授業以外の活用の一

員の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進するため、平塚市立学校教職員安全衛生委員会を定期的に開催していく。その中で、これまでの取り組みについての効果を検証するとともに、国の動向を注視し、新たな取り組みを検討するなど今後も学校の働き方改革を推進していく。

**このほかの質問** 中学校完全給食の実施に向けた現状と今後、平塚市幼保一元化に関する公立園の見直し(改訂版)に基づく本市の考え方

**問** 宅配による見守り事業の成果と効果を伺う。

**健康・子ども部長** 子育て支援団体を利用し支援ニーズの高い子どもなどがある世帯に弁当を届け、生活状況の把握などを行っている。家庭を直接訪問することで、支援ニーズの高い子どもを見守る体制の強化が図られ、少しずつだが家庭の状況改善にもつなげることができたと考えている。

**問** 学校関係や関係機関との連携について伺う。

**健康・子ども部長** 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会と、庁内14課で構成するヤングケアラー支援推進会議を活用して連携を進めている。

**問** ヘルパー派遣の現在の状況を伺う。

**健康・子ども部長** 5年2月から開始し、現在1世帯が利用しているほか1世帯の利用調査を進めている。

**問** ヤングケアラーとして把握している人数を伺う。

**健康・子ども部長** 8月末時点では44人である。

安心・安全・快適なまちへ  
山原 栄一議員

### 金目川水系を 安心・安全に

**問** 令和3年7月3日に大雨が降り、金目川周辺で氾濫が発生し「緊急安全確保」が全国で初めて発令された。その後も大雨が降るたびに不安を抱えて暮らす多くの市民がいる。金目川水系の安心・安全に向けた取り組みについて伺う。

**土木部長** 金目川水系の河川整備は河川管理者である

が、介護者の支援体制を充実させるべきではないか。

**福祉部長** 地域包括支援センターではケアマネージャーの支援を目的に、包括的・継続的ケアマネジメント支援に取り組み、個別指導や相談支援を行っている。地域では、自治会や地区社協などで構成する地域ケア会議を設置し、地域での課題解決や介護者の異変に気付ける支援体制の充実に取り組んでいる。

**問** 金目川の内外氾濫対応は水害を予防する大事な肝である。対策に向けた市長の決意を伺う。

**市長** 早期に解決しなければ住民にとっては大きな脅威が続く。県に対してはしっかりと対応するよう強く要望していく。

**問** 金目川の内外氾濫対応は水害を予防する大事な肝である。対策に向けた市長の決意を伺う。

**市長** 早期に解決しなければ住民にとっては大きな脅威が続く。県に対してはしっかりと対応するよう強く要望していく。

**問** 今後の利活用については、地元自治会長からの意見も踏まえて検討するのか伺う。

**企画政策部長** 委託業務の結果を踏まえて売却の方向性を決めていくことで進めている。売却の方向性、市の考え方をまとめた段階で地域へ説明を行う。

湘南フォーラム 所属議員  
出村 光議員  
小泉 春雄議員



**問** 今後の利活用については、地元自治会長からの意見も踏まえて検討するのか伺う。

**企画政策部長** 委託業務の結果を踏まえて売却の方向性を決めていくことで進めている。売却の方向性、市の考え方をまとめた段階で地域へ説明を行う。

**このほかの質問** 広域的な幹線道路の渋滞について

平塚市地球温暖化対策について

議事録は11月下旬に公開  
9月定例会の議事録は11月下旬から公開します。市議会ホームページなどでもご覧になれます。

### 議会図書室のご案内

議会には、議員の調査研究のため、図書室の設置が法律により義務付けられています。

本市議会では、開かれた議会とするため、平塚市庁舎本館8階の議場前の開放したスペースに議会図書室を設け、市民・議会・行政が共同で利用できる環境をつくりました。



しらさぎ・無所属クラブ



「親子ベンチ」を増やそう
まちなかにも
江口 友子 議員

問 平塚駅西口前の老朽化していたベンチが修繕された。ゆったり座れる木製ベンチは人気があり、親子がくつろいでいる姿も見られる。このようなベンチを増やせば駅周辺の賑わいにもつながるのではないかと。



野宿者対策で鉄製の突起物を付けていた



ベンチ中央にあった突起物もなくなり、きれいに

いベンチに更新していく。また、商店街団体が管理するベンチの修繕は、設置者に働きかけていく。

止策を講じることができるよう改善した。
問 保育士の増員を考えるべきではないか。
健康・こども部長 人の配置は簡単にできない。早急に対応できる方法として、今回カメラを設置する。

市長さん、子どもの声を直接聞いて

問 公立園の民営化や統廃合を行うおつもりだが、ひばり幼稚園の卒園生から「幼稚園で大事にしてもらったから今の自分がある」と言われたことがある。市長も直接子どもたちから話を聞いてはどうか。
市長 機会があれば話を聞くこともやぶさかではないが、ほかの幼稚園や保育園もいろいろと努力をしている。市長の立場からはひばり幼稚園だけを特別視することは難しい。

市長 駅西口前のベンチは、老朽化が進んだため新たに誰も使いやすいベンチとして修繕した。駅周辺や文化ゾーンの公園のベンチも、老朽化などで修繕する場合は、誰もが使いやすい

問 市内認可保育所での死亡事故後、検証委員会を5年以上設置しなかった。直ちに設置するよう改善するべきではないか。
市長 重大事故が発生した際には速やかに検証委員会を立ち上げ、早期に再発防

保育所の死亡事故 人員配置増で防げ

問 県警に対して、国道134号から公園駐車場に入るための右折車線設置を嘆願する資料を提出したが、この資料には公園駐車場に渋滞対策のために誘導員を配置するなどの対策を講じても慢性的な渋滞が起きる場合、右折車線の在り方を総合的に見直す必要がある。市外来者向けの駐車場確保と、そのための右折車線設

置がいかに重要かよく伝わってくるが、巨大駐車場整備のために樹林帯が伐採され、風害や塩害、交通渋滞の負担を受ける海岸沿いの近隣住民や自治会に対して配慮する文言はなかった。「駐車場を造りたい」という思いだけが先行し、住民及び自治会を置き去りにしているのではないかと。
都市整備部長 渋滞が発生すれば近隣住民にも影響が及ぶが、渋滞が発生しないような計画になっている。
問 公園駐車場につながる通路は市道となったが、都

市公園法では公園内に何を造ってもいいわけではなく、「公園施設一覧」に基づき施設を定める必要がある。この市道部分は公園施設の何にあたるのか伺う。
都市整備部長 都市公園法上の公園施設に位置づけられる必要も含めて整理を進めているところである。
問 このまま事業を進めたら、市長が被告として訴えられる可能性もある。計画をきちんと見直していく必要があるのではないかと。
市長 法律と齟齬がないよう進めていきたい。

問 本市独自の物価高騰対策や緊急支援金施策を講じるべきではないか。
企画政策部長 今後、国が講じている支援策の動向や物価高騰が市民生活に与える影響を注視しながら、必要な対策を見極めていく。
問 インボイス制度が始まれば売上1千万円以下の個人や零細事業者は更なる窮地に追いやられる。適用となる市内事業者数を伺う。
企画政策部長 インボイス制度は国の所管のため、適用となる市内事業者数は把握していない。
問 シルバー人材センターで働く人もインボイス制度の対象と聞いているが対象になるのか伺う。
企画政策部長 生きがい事業団の会員も個人事業主の対象になる。そこが市の課

級で、財政調整基金の目的の一つは災害対応である。12万世帯に3万円を給付しても36億円、4万円の給付でも48億円である。財政調整基金を市民の困窮対策に充てるべきではないかと。
企画政策部長 財政調整基金に限らず、さまざまな財源確保から効率的、効果的な方策を検討して対応していきたい。

問 紙の健康保険証廃止に対する市長の見解を伺う。
デジタル推進担当部長 国の施策であり、その方針に基づき、着実に事務を進める立場だと認識している。
問 マイナカードを巡るトラブルが続出する中、スマートフォンを利用した印鑑証明などのコンビニ交付は時期尚早ではないか。
デジタル推進担当部長 今議会に上程した「平塚市印鑑条例の一部を改正する条例」は、国のシステム運用開始後、利用希望者へ速やかなサービス提供を行うためのものである。
このほかの質問 (仮称)
次期平塚市総合計画 湘南ひらつか花火大会



物価高騰で生活困窮 貧困対策の拡充を
端 文昭 議員

問 令和5年3月議会で、Live119の導入に当たっては、導入事例を参考に研究を継続すると答弁していたが、その後の研究内容と導入予定を伺う。
消防長 本年5月に通信指令員を対象に研修会を開催するなど、調査・研究を進めており、引き続き当該システムに期待できる効果や運用面での課題分析を進め、実証試験実施後に導入の是非を判断したい。

問 指令センターが被災して業務継続が不可能となった場合でも、被害が少ない署へ装置の一部を持ち出し、設置することで119番の業務継続を可能とする可搬型指令システムの導入について伺う。
消防長 消防指令センターがある本庁舎は耐震安全性の確保と免震構造を備えているが、想定以上の災害発生を考慮し、導入事例を参考に調査研究していく。

問 千葉市は92.3%の育休取得率で、その要因は、育休を取得しない理由を尋ねることである。本市でも取得しない理由を尋ねることではないのか。
総務部長 機会を捉えて取得しない理由の聴取をしていきたいと考えている。

平塚市から始める育休



熊本市消防局司令センターでLive 119の講習受講



Live119と可搬型指令システムの導入
元島 新 議員

声や点字の議会だより

目の不自由な方に市議会の活動をお伝えするため、議会だよりの内容を朗読した「声の議会だより」を発行しています。また、点字版も発行しています。



ご希望の方は議会局までご連絡ください。

問い合わせ
議会局 ☎21-8791

問 県警に対して、国道134号から公園駐車場に入るための右折車線設置を嘆願する資料を提出したが、この資料には公園駐車場に渋滞対策のために誘導員を配置するなどの対策を講じても慢性的な渋滞が起きる場合、右折車線の在り方を総合的に見直す必要がある。市外来者向けの駐車場確保と、そのための右折車線設

置がいかに重要かよく伝わってくるが、巨大駐車場整備のために樹林帯が伐採され、風害や塩害、交通渋滞の負担を受ける海岸沿いの近隣住民や自治会に対して配慮する文言はなかった。「駐車場を造りたい」という思いだけが先行し、住民及び自治会を置き去りにしているのではないかと。
都市整備部長 渋滞が発生すれば近隣住民にも影響が及ぶが、渋滞が発生しないような計画になっている。
問 公園駐車場につながる通路は市道となったが、都

市公園法では公園内に何を造ってもいいわけではなく、「公園施設一覧」に基づき施設を定める必要がある。この市道部分は公園施設の何にあたるのか伺う。
都市整備部長 都市公園法上の公園施設に位置づけられる必要も含めて整理を進めているところである。
問 このまま事業を進めたら、市長が被告として訴えられる可能性もある。計画をきちんと見直していく必要があるのではないかと。
市長 法律と齟齬がないよう進めていきたい。

問 紙の健康保険証廃止に対する市長の見解を伺う。
デジタル推進担当部長 国の施策であり、その方針に基づき、着実に事務を進める立場だと認識している。
問 マイナカードを巡るトラブルが続出する中、スマートフォンを利用した印鑑証明などのコンビニ交付は時期尚早ではないか。
デジタル推進担当部長 今議会に上程した「平塚市印鑑条例の一部を改正する条例」は、国のシステム運用開始後、利用希望者へ速やかなサービス提供を行うためのものである。
このほかの質問 (仮称)
次期平塚市総合計画 湘南ひらつか花火大会

級で、財政調整基金の目的の一つは災害対応である。12万世帯に3万円を給付しても36億円、4万円の給付でも48億円である。財政調整基金を市民の困窮対策に充てるべきではないかと。
企画政策部長 財政調整基金に限らず、さまざまな財源確保から効率的、効果的な方策を検討して対応していきたい。

問 指令センターが被災して業務継続が不可能となった場合でも、被害が少ない署へ装置の一部を持ち出し、設置することで119番の業務継続を可能とする可搬型指令システムの導入について伺う。
消防長 消防指令センターがある本庁舎は耐震安全性の確保と免震構造を備えているが、想定以上の災害発生を考慮し、導入事例を参考に調査研究していく。

しらさぎ・無所属クラブ
所属議員
渡部 亮 議員
白井 照人 議員

会議録検索のご利用を
市議会ホームページの会議録検索では、日程や発言者などから簡単に検索することができます。
QRコード
平塚市議会 会議録検索

公明ひらつか



共生社会構築を目指して

秋澤 雅久 議員

情報のユニバーサルデザインについて

問 点字が読める視覚障がい者は全体の約1割だが、市からのさまざまな紙媒体による通知やウェブ上の文字情報へのアクセスについて市はどのように把握しているのか伺う。

市長 紙媒体による通知は、障害福祉サービスの居宅介護で代読や代筆を提供している。また、家族に代読してもらったりなどの手段で情報を得ているものと把握している。ウェブアクセスについては、紙媒体と同様の代読のほか、ウェブサイトの文字情報を読み上げるソフトウェアの利用により、情報を取得していること認識している。

問 視覚障がい者などへの文字情報アクセス支援として、通知内容を音声に変換するユニボイスと呼ばれる切手サイズの音声コードがある。ユニボイスの認識と各種通知文に導入することについて見解を伺う。

市長 文字を音声として再生する機能は、視覚障がい者などの文字情報の取得に有効であり、「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」の基本理念に沿うものとして

市長 視覚障がい者のスマートフォン普及率が高まっていることや、音声データを読み上げる「耳で

聴くハザードマップ」が開発されたことから、音声によるハザードリスクを知らせる仕組みを早期に導入できるように検討していく。

認知症施策について

問 令和5年6月「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が成立したが、本市のさまざまな認知症支援策にどう反映されるのか、また、どのようなことができるのか伺う。

福祉部長 これまでも国の認知症施策推進大綱に基づき、さまざまな認知症施策を先進的に行っており、法の成立による大きな変化はないと考えているが、国や地方公共団体、国民の責務が定められるなど法的な担保ができたことから、医療

市長 印刷物、画像データともに、視覚障がい者に地図データを使って災害リスクを知らせることが難しいため、窓口で直接聞き取りをし、情報を伝える方法をとっている。



交通弱者の外出支援の更なる充実を

上野 仁志 議員

問 福祉有償運送は通院やレジャーなどを目的に、概ねタクシーの半額程度で高齢者が利用できる送迎サービスである。周知に関する取り組み状況を伺う。

副市長 対象者には関連窓口での案内やホームページ、公共施設で配架しているチラシなどで周知している。今後は高齢者施設への情報提供など、より一層の周知を図っていきたい。

副市長 福祉有償運送は、移動制約者にとって有効な移動手段であり、持続可能な取り組みになるよう支援していく必要がある。今後は事業を取り巻く社会状況や事業者の声を踏まえ、認定ドライバー講習の補助を



空家の放置を未然に防ぎ活気があふれるまちづくりを

五十嵐 豊 議員

問 令和5年6月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が改正された。本市の空家等対策計画へどのように反映するのか伺う。

まちづくり政策部長 国から公表されるガイドラインの改正内容などを踏まえ、平塚市空家等対策協議会の意見も聞き、再改定などを検討していく。

問 放置状態になっている空家の対応を伺う。

まちづくり政策部長 所有者に現地調査の状況写真などを添えた文書を送付し、対応、是正をお願いしている。所有者と連絡が取れた空家については、定期巡回で状況を確認している。

問 空家バンクの活用について、専門家も入って、地域の特性を活かしたマッチ

含め、事業者への支援策を検討する。

問 本市の公共交通は駅を中心に乗り換えをするが、これは健常者の考えである。海岸地域では市民病院に直接行きたいとの声が多くあるが、本市の考えを伺う。

まちづくり政策部長 まずは現状の交通網を維持するのが第一であり、現在の交通網を補完する形で、コミュニティバスや乗り合いタクシー、グリーンズローモビリティなどについて地域と検討を進めている。

問 がん患者に対するさまざまな支援の周知は、健康課が窓口となって対応すべきと思うが見解を伺う。

健康・こども部長 県立がんセンターのサポートハンドブックなど、県にリンクし正しい情報を提供出来るように関わっていききたい。

問 医療用ウィッグの購入助成金制度を導入すべきと考えられるが見解を伺う。

副院長兼事務局長 医療用ウィッグは無償貸与を

問 小中学校への遮熱塗装の導入について伺う。

健康・こども部長 遮熱塗料は太陽光を反射する効果があり、室内温度の上昇を抑える機能を備え、暑さ対策の一つになると考える。来年度予定している体育館の改修工事で採用の可能性を研究していきたい。

問 学校などの屋上に遮熱塗装することで冷房効率を上げられると思うが見解を伺う。

企画政策部長 費用対効果なども調査研究していきたいと考えている。

問 小中学校への遮熱塗装の導入について伺う。

公明ひらつか 所属議員 石田 美雪 議員 岡崎 通子 議員

インターネット中継 本会議の質問と答弁の様子は、インターネットで生中継と録画中継を行っています。各議員の質問内容を詳しく知りたい方は市議会ホームページからアクセスしてください。議員、会派、ことばなどを検索して映像を選べます。録画中継は発言日のおおむね1週間後から、会議録をホームページに掲載するまでの間、ご覧いただけます。



日本共産党平塚市議会議員団



市民の権利を擁護し、生命・財産を守ることが市長の責務

松本 敏子 議員

自治基本条例に沿ったまちづくりを

自治基本条例では、市民の権利を擁護し、生命・財産を守ることが市長の責務として...

24時間営業が予想されるコンビニエンスストアについて、住民にいつ説明するのか。

都市整備部長 最終プランがまとまり次第説明する。

市長は全て決定してから説明することが最も良い

無所属



龍城ヶ丘ゾーン整備は地元住民との対話が何よりも大切

佐藤 由美子 議員

令和5年6月議会で自治会長や住民への説明会について質問したが、その後進展はあったのか何う。

都市整備部長 地元自治会への説明は、現在自治会長と調整を図っている。

市民が専門家に海岸林を10メートル残せば問題ないと市に指導したのか確認した結果、そのような発言はしていない。市が判断した根拠を何う。

不登校の小中学生における対策

学校に行きづらい子ども

都市整備部長 樹木を残すことで風の流れが大きく変わらぬことは、専門家の知見に基づき市が判断したものである。また、保全する樹木の幅を約10メートルとしたのは、現地での海岸林による飛砂の捕捉の観測結果から判断した。

不登校の児童生徒が増加している現状を踏まえ、児童生徒の学校での居場所について先進的な事例を収集するなど研究に取り組んでいく。

不登校支援団体の情報の周知方法について何う。学校教育部長 県でもさまざまな情報発信を行っている。今後、県とも連携をとり、市がどのような周知が出来るのかしっかり研究し

市議会ホームページ

市議会に関する情報は、市議会ホームページからご覧になれます。



請願・陳情を市議会へ

皆さんの意見や要望を議会に伝え、市政に反映させる方法として請願と陳情があります。

請願は、紹介議員を必要とし、提出後は所管の常任委員会などへ付託して審査します。その後、委員会審査の結果を本会議へ報告し、議会としての採択、不採択などを決定します。

陳情は、請願と同じような性格のものですが、紹介議員を必要とせず、提出後は議会運営委員会でその取り扱いについて協議します。



常任委員会の審査概要

教育民生

議案3案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

議案第71号 令和5年度平塚市一般会計補正予算

市民活動推進費の国際交流活動推進事業について、リトアニア共和国カウナス市との姉妹都市提携の調印式に向けた取り組みを何う。

カウナス市で調印式を行うため、現在オンラインを駆使している。細かい調整を行っている。

その中で、両市で提携の記念品を贈り合うことを合意したので、現在検討を進めている。なお、11月に渡航して、11月25日にカウナス市で調印式を行うことになっている。

学校給食費の単独調理場運営事業の補正内容を何う。

当初予定していない故障や修繕の対応を考えている。今回崇善小学校の冷凍庫の更新を行うが、メーカーと協議の結果、修理が難しいとのこと、買い換えをするための予算を計上している。

環境厚生

議案5案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

議案第71号 令和5年度平塚市一般会計補正予算

青少年育成費の放課後児童健全育成事業について、送迎用バスの安全装置はどのようなものか。

2種類の装置があり、1つがエンジンの停止後に車内確認を促す警報が鳴り、運転手が後方に車内警報を消しに行く降車時確認式、もう一つはエンジン停止後、

一定期間経つとセンサーで車内の検知をする自動検知式である。

児童福祉総務費の民間保育所助成事業と児童福祉施設費の公立保育所等運営事業の記録用カメラについて、民間への補助と公立園に設置するが、公立園では園児たちが着替える部屋にも設置する予定なのか。

公立園のカメラの設置場所だが、各保育室と園庭を予定している。保育室では着替えも行うことから、カメラを設置した部屋で着替えを行うことになる。

理念などを踏まえ、令和元年に市長の指示でPPP/PMF事業における市民対話マニュアルを策定した。自治基本条例に基づき、また、市民対話マニュアルに沿って進めている。

都市整備部長 今ある風衝形は全て保全していく。犠牲林だけが風衝形ではない。全体が風衝形である。指導を受けた吉崎教授の判断を聞きたい。

幼保元化に関する公立園の見直し 質の高い保育を継承していくには公立園の役割が重要だが、今回の改訂でその役割が果たせるのか。健康・子ども部長 市全体の子育てサービスの質の向上や要配慮児の受け入れなどが公立園の役割と認識している。その実践を民間園



日本共産党平塚市議会議員団 所属議員 高山 和義 議員

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。常任委員会の主な質疑を紹介します。

# 審議の結果

## 市長提出議案

○は賛成 ×は反対 退は退席  
(各会派の正式名称はページ左下に記載しています)

議案番号	件名	結果	清	湘	し	公	共	A
認第1号	決算の認定について〔令和4年度平塚市一般会計・特別会計決算〕	継続審査	—	—	—	—	—	—
認第2号	決算の認定について〔令和4年度平塚市病院事業決算〕	継続審査	—	—	—	—	—	—
認第3号	決算の認定について〔令和4年度平塚市下水道事業決算〕	継続審査	—	—	—	—	—	—
第61号	平塚市印鑑条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○4退1	○	×	○
第62号	平塚市一般職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
第63号	平塚市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
第64号	地方税法第314条の7第1項第4号に掲げる寄附金を受け入れる特定非営利活動法人等を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
第65号	大神・吉際地区住居表示整備事業の実施に伴う関係条例の整理に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○
第66号	平塚市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
第67号	平塚市火災予防条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
第68号	工事請負契約の締結について〔四之宮公民館新築工事（建築）〕	可決	○	○	○	○	○	○
第69号	市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○
第70号	利益の処分について	継続審査	—	—	—	—	—	—
第71号	令和5年度平塚市一般会計補正予算	可決	○	○	○4退1	○	○	○
第72号	令和5年度平塚市競輪事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○
第73号	令和5年度平塚市国民健康保険事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○
第74号	令和5年度平塚市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○
第75号	令和5年度平塚市介護保険事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○
第76号	令和5年度平塚市後期高齢者医療事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○
第77号	令和5年度平塚市下水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○
第78号	公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○
第79号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○
第80号	功労者の表彰について	可決	○	○	○	○	○	○
第81号	功労者の表彰について	可決	○	○	○	○	○	○

## 報告

報告番号	件名
第10号	継続費の精算報告について
第11号	健全化判断比率について
第12号	公営企業の資金不足比率について
第13号	専決処分の報告について

## 決算特別委員会を設置

9月定例会に令和4年度決算に関する議案が提出されたため、議会では決算特別委員会を設置し、9月26日から9月27日にかけて審査を行いました。  
※審査の概要は、次号でお伝えします。

- 【委員長】 数田 俊樹 (写真)
- 【副委員長】 渡部 亮
- 【委員】 石田 美雪  
片倉 章博  
小泉 春雄



## 会派名等の表記について

審議結果一覧表では、会派名等を略称で表記しています。正式名称等は次のとおりです。

- 清……清風クラブ(8名)
- 湘……湘南フォーラム(5名)
- し……しらさぎ・無所属クラブ(5名)
- 公……公明ひらつか(5名)
- 共……日本共産党平塚市議会議員団(2名)
- A……佐藤由美子(無所属)

## 議会報編集委員会

- 編集委員 元島 新 久保田聡  
岡崎通子 黒部栄三
- 議長 坂間正昭
- 副議長 出村 光

## お知らせ

- 12月定例会の本会議と常任委員会は、右記日程での開催を予定しています。本会議は午前10時に開会の予定です。
- 本会議はケーブルテレビ(SCN)での生中継と当日夜の録画放送、インターネットでの生中継と録画中継の配信を行っています。
- 市議会ホームページでは、これまで発行したひらつか議会だよりをご覧ください。



問い合わせ  
平塚市議会 議会局 ☎0463-21-8791

## 12月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/26	11/27	11/28	11/29 本会議 [提案説明 など]	11/30	12/1	12/2
12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	12/8 本会議 [総括質問]	12/9
12/10	12/11 本会議 [総括質問]	12/12 本会議 [総括質問]	12/13 本会議 [総括質問]	12/14	12/15 常任委員会	12/16
12/17	12/18 常任委員会	12/19	12/20	12/21	12/22 本会議 [表決など]	12/23
12/24	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	12/30